



2020年5月22日

各 位

会 社 名：日本化薬株式会社
 代 表 者：代表取締役社長 涌元 厚宏
 コード番号：4272 東証一部
 問 合 せ 先：グループ経理本部経理部長 川 村 勉
 (電話:03-6731-5842)

2021年3月期第2四半期(累計)連結業績予想に関するお知らせ

当社は、2021年3月期第2四半期(累計)連結(2020年4月1日～2020年9月30日)の業績予想がまとまりましたのでお知らせいたします。

なお、通期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大による業績への影響が予測困難なため、現時点での開示は行っておりません。通期の見通しが分かり次第、開示してまいります。

記

1. 2021年3月期第2四半期(累計)連結業績予想(2020年4月1日～2020年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する四半 期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 -	百万円 -	百万円 -	百万円 -	円 銭 -
今回発表予想(B)	79,000	3,000	3,500	3,000	17.57
増減額(B-A)	-	-	-	-	
増減率(%)	-	-	-	-	
(ご参考)前期実績 (2020年3月期第2四半期)	85,608	9,045	9,149	6,337	36.60

2. 2021年3月期第2四半期(累計)連結の業績予想の開示理由

2021年3月期第2四半期(累計)連結の業績見通しの前提としましては、新型コロナウイルス感染症拡大を受け、世界的な経済活動の停滞による需要の減少が2020年4月から6月を底に徐々に回復に向かうと想定しております。当社は機能化学品、医薬品、セイフティシステムズ、農薬と幅広い事業領域で事業を展開しており、新型コロナウイルス感染症による影響は事業領域によって異なります。当社製品の需要も、経済活動の停滞及び再始動のサイクルの中で、特に機能化学品、セイフティシステムズは影響を受けることが考えられます。このような中、当社グ

ループは、「新しい生活様式」を実践しながら、コストの削減を進め、事業を支える経営基盤を強固にし、事業環境の変化に適合しつつ、持続的な企業価値の向上に取り組んでまいります。

以上の想定を踏まえ、当第2四半期(累計)連結の業績見通しにつきましては、売上高は79,000百万円(前年同四半期7.7%減)、営業利益は3,000百万円(前年同四半期66.8%減)、経常利益は3,500百万円(前年同四半期61.7%減)、親会社株主による四半期純利益は3,000百万円(前年同四半期52.7%減)としております。

為替レートは107.50/米ドルと想定しております。

(注) 業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上